

## 生産は連続して増加も 大型小売店販売は31カ月ぶりのマイナス

9月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、2カ月連続の前年同月比プラスとなった。電子部品・デバイス工業（前年同月比+48.8%）や汎用・生産用機械工業（同+26.2%）など6業種が上昇した。

10月の大型小売店販売（百貨店・スーパー）は、既存店（店舗調整後ベース）で同▲2.3%と31カ月ぶりのマイナス、専門量販店別では、ドラッグストアが同+1.6%と29カ月連続のプラスとなった。

新設住宅着工戸数は、5カ月ぶりの前年同月比マイナスとなった。利用関係別では、持家は4カ月連続の前年同月比プラス、貸家は5カ月ぶりのマイナスとなった。

各指数の矢印については  
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

### 鉱工業生産指数



### 前年同月比2カ月連続プラス(9月)

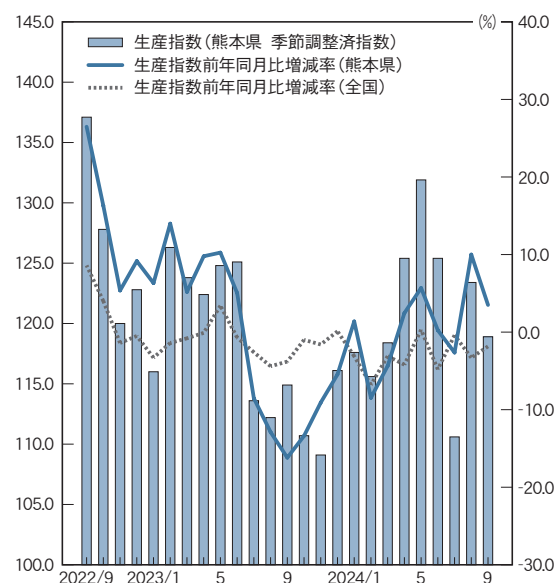
9月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、速報値で前年同月比+3.5%の118.9と2カ月連続でプラスとなった。

生産指数（季節調整済）を業種別にみると、電子部品・デバイス工業（前年同月比+48.8%）や汎用・生産用機械工業（同+26.2%）など6業種が上昇した。一方で、電気機械工業（同▲71.6%）や木材・木製品工業（同▲16.5%）など11業種が低下した。

業種別寄与度を見ると、輸送機械工業が+1.87ポイント、汎用・生産用機械工業が+0.87ポイント、窯業・土石製品工業が+0.83ポイントとなり、全体の生産指数を押し上げた。

なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路（原指数）は235.6（同+53.1%）と上昇した。

鉱工業生産指数前年同月比（2020年=100 季節調整済）



※最新月は速報値  
資料：熊本県統計調査課、経済産業省

## 住宅着工



## 着工戸数は5カ月ぶりの前年比マイナス(10月)

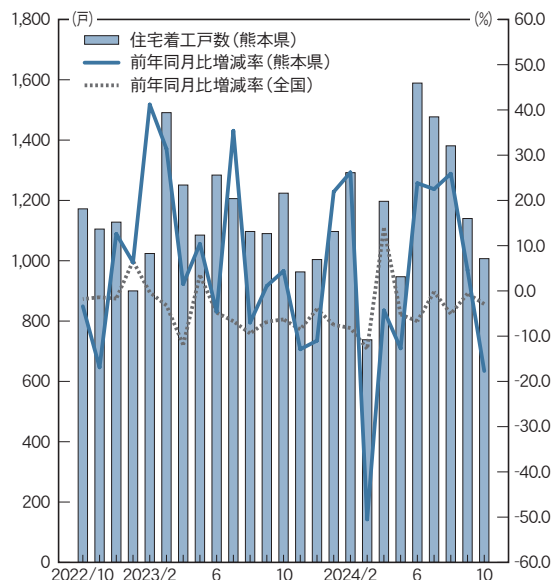
10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比▲17.7%の1,007戸となり、5カ月ぶりのマイナスとなった。

利用関係別にみると、持家が369戸（前年同月比+19.4%）、貸家は424戸（同▲45.8%）、分譲は213戸（同+65.1%）となっている。

持家は今年7月に18カ月ぶりに前年同月を上回り、4カ月連続で前年同月比プラスとなった。一方で、貸家は5カ月ぶりに前年同月比マイナスとなった。

なお、全国の10月の新設住宅着工戸数は、69,669戸（同▲2.9%）となっており、6カ月連続マイナスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

## 公共工事



## 請負金額は前年比マイナス(11月)

11月の公共工事件数は前年同月比▲4.5%の470件となり、請負金額は同▲29.5%の172億02百万円

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)

公共工事請負金額前年同月比

